

弓削商船高等専門学校技術振興会設立趣意書

弓削商船高等専門学校（以下「弓削商船高専」という。）は、明治34年に弓削村外一ヶ村学校組合立「弓削海員学校」として越智郡弓削村に設置以来、幾多の変遷を経て昭和42年に国立弓削商船高等専門学校として設置され、平成16年4月には独立行政法人化されました。今日までの104年間に6,250名の実践的かつ専門的な知識及び技術を有する創造的な技術者を輩出されています。

弓削商船高専は「しまなみ海道地域」唯一の高等教育機関であり、平成17年4月には学士の称号を持った、より高度な幅広い独創的開発能力と国際的視野を持つ技術者を卒業生として輩出する専攻科（2年課程）を設置されました。

同校では高専の持っている資産（人・知・物）を、住民には公開講座による生涯学習の実施、企業の方々には共同研究や受託研究など研究や相談の実施という形で還元しておられます。平成14年度には「地域共同研究推進センター」を設置し、民間等外部機関との連携を深め、地域産業の発展・育成のために、技術相談、技術指導、共同研究等の要請に応え、かつ、リフレッシュ教育の積極的推進を図り、併せて、弓削商船高専における研究水準の向上に取り組んでおられます。

また、弓削商船高専は、今治市と国土交通省が今治地域の造船産業の振興を図るための、平成16年度都市再生プロジェクト「自立型地方都市再生のための地域力整備」に、17年度には上島町造船振興計画検討委員会に参画されておられます。

このように、弓削商船高専は、若く有為な技術者の育成と研究活動等を通して、地域産業と連携・交流を積極的に推進されておられますが、独立行政法人化された事もあり、厳しい競争の時代を向かえておられます。今後とも益々これらの活動を活発に行っていただくには、地域産業界からの協力も今まで以上に必要と考えます。

つきましては、弓削商船高専における教育研究活動に対し、より一層の協力を図るとともに、地域産業界との連携・交流を深めることを目的に、僭越ながら、私ども弓削商船高専に関係ある者が相諮り「技術振興会」の設立を計画いたしました。

何卒、以上の趣旨にご賛同くださいますと、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年2月吉日

発起人

今治商工会議所
（財）今治地域地場産業振興センター
因島商工会議所
（株）愛媛銀行
愛媛県情報サービス産業協議会
（財）えひめ産業振興財団
愛媛内航海運組合連合会
尾道商工会議所
上島町商工会設立委員会
弓削商船高等専門学校同窓会
（五十音順）

会頭	檜垣 俊幸
理事長	越智 忍
会頭	村上 祐司
頭取	中山 紘治郎
会長	赤松 民康
理事長	麻生 俊介
会長	真木 克朗
会頭	佐藤 忠男
委員長	澤田 年光
会長	小田原 照明